

スピアーズ通信

SPEARS

12
2017



[巻頭インタビュー]

伊藤 有司

[SPEARS STAFF 仕事の流儀]

広報普及担当

前川 泰慶

[ドン稲橋のSPMO]

槍男の帰り道編

「感謝」

伊藤 有司



皆様こんにちは。9年目の今野です。今回のインタビューは、ジョンの愛称で親しまれているWTBの伊藤有司選手です。強靱なフィジカルを武器に相手に脅威を与え、チームに対しても逆サイドまで聞こえる程の大きな声で鼓舞し続けてくれている選手です。入団8年目を迎えた今シーズンも第5節以降出場し続けています。

—最初に自己紹介をお願いします。

8年目の伊藤有司です。大学が天理なので関西出身と思われるのですが、東京都足立区出身です。日本の首都です。紹介された通り、ジョンと呼ばれています。

—今更だけどなんでジョンなんだっけ？

理由はよく聞かれますが…大学の先輩が「ジョンっほいわ！今日からジョンな！」って言われたのがきっかけです。

—じゃあ出身地も聞いた事だし、地元の紹介をお願いします。

下町であり、地元LOVEの方が多いです。近所には有名な西新井大師があり年始にはたくさんの

人であふれかえっています。私も地元のそば屋「小松庵」で年越しそばを頂いて、初詣は西新井大師に参拝に行きますので、皆様もこのコースはいかがですか？

—では続いては、ジョンが人生で大切にしている言葉とかある？

これだって言葉はないですが、どんな時でも笑顔でいたいと思っています。

—ここからはラグビーの話になるけど、ラグビーはいつから始めたんだっけ？

ラグビーは高1の時に始めました。ルールもわからず無我夢中でやっていました。

—高校ラグビーの思い出は？

高校ラグビーをやるからには誰しもが花園を目指しますが、強豪校ではない私も恥ずかしながら同じように目指していましたが…花園は程遠かったです。

花園には今でも憧れはありますが、今思うと…母校のように自由にラグビーをやらせてもらう環境

が自分に合っていたから続けられたのかなとも思います。

—自由にやれていた環境から厳しいイメージの天理大学(※今野の個人的な意見です)になんで行ったの？

毎年花園に行けないとクリスマスに天理合宿しており、合同合宿をしている学校の紙谷監督に天理大学を勧められたのがきっかけです。

—じゃあ大学ラグビーで印象に残っている事は何？

実家・地元を離れ奈良の天理に来て、1、2年目はとにかく「帰りたい」しか言っていなかったです。でもそんな中でも先輩・同期・後輩等、色々な方に出会えた事が良かったと思っています。また今でも同じ大学出身のメンバーとラグビーができていることに感謝です。(※スピアーズの天理大出身者は7名)

—続いてクボタに入ってからのも聞いておこうかな。印象に残っている試合はいつの試合？

1試合、1試合すべてが大事な試合ではありますが：一番印象に残っている試合はトップリーグ・クボタスピアーズのデビュー戦です。緊張しすぎて、試合内容はほとんど覚えていません。(※2010・11シーズン第5節サントリー戦。デビュー戦でトライを決める)

—某番組のような事を聞きますが、ジョンにとってラグビーとはどういう存在ですか？

ラグビーがなかったら今の自分はないと思います。ラグビーに感謝です。

—では、最後にファンの皆様へメッセージをお願いします。

いつも応援ありがとうございます。今年最終戦はクリスマススイブに試合がありますので、是非会場に足を運んで頂き一緒に闘いましょう。そして勝利し、みんなで笑いましょ。年始も順位決定戦がありますので、こちらもお願いします。1戦1戦チームみんなで勝ちます。

—ありがとうございました。



プロフェッショナル spears staff

仕事の流儀

第四回はスピアーズスタッフ、広報普及担当の前川泰慶さん。選手が作成する本誌だからできる、広報担当者の紹介。現役時代から変わらぬスピアーズ愛で仕事に取り組み前川さんの仕事の流儀を紹介します。

◆前川泰慶

スピアーズの広報普及担当としてスピアーズWEBサイトの更新、

Facebook・twitter・instagramなどSNSでのリアルタイムな情報発信、選手やコーチへの取材のメディア対応、ラグビーの普及活動や地域貢献活動の企画・運営が主な仕事。奈良県出身で選手としては同志社大学時代には主将を務め、2008年にクボタに入社。2015年シーズンまで8年間スピアーズでプレーしその後現職に。現役時のポジションはLO。

＜KUBOTA MAN＞

現役時代からグラウンド内外でのチームへの献身的なプレーや態度、業務に取り組む姿勢でチームの信頼は厚かった。その信頼が形となって残っているのが、引退する2015・16シーズンの「KUBOTA MAN」選出である。

※KUBOTA MAN：試合だけでなく、普段の練習やチーム作り、地域貢献活動等で最もチームに貢献した選手をチーム全員の投票で選ぶ賞。

そんな選手だからこそ、引退と同時に当時監督の石倉前監督から「次はスタッフとしてチームに貢献し

てほしい」と打診された。2016年3月から正式にスタッフとなり現在に至る。

◆後輩に感謝！？現役ラストゲーム

現役時代での忘れないシーンがある。2015・16シーズン、ホンダヒートとの最終戦。このシーズンのリーグ戦では出場機会に恵まれず、この試合でも当初はメンバー外。「この時期の1か月程前に引退を告げられてから、様々な思いを抱えたまま毎日練習していました。」

そんな中、試合の数日前に同じ大学の後輩であり、その試合のメンバーだった四至本選手が練習で怪我。急遽出番が回ってくる。リザーブとして15分ほどの出場だったが現役ラストゲームを公式戦、グラウンドの上で味わった。

「これで終わり」というホッとしたような、残念なような今まで味わったことがない気持ちで試合を楽しむことができました。」

試合終盤では密集でトライも奪う。「本当にボールを押さえられたか微妙な判定でしたが、現役最後のスピアーズの試合に出場でき、トラ



イもとれて、四至本選手には悪いですが、できた後輩を持って幸せと感じました。笑」

◆チームの価値を高める

そんな前川さんの仕事の流儀。

「チームの価値を高める」

「私の仕事は勝利に直結することではありません。だからこそ自分の仕事の軸はチームの価値を高めることができるかどうか置いていません。中には短期で成果が出にくい活動もありますが、クボタスピアーズというチームを知ってもらい、興味をもってもらい、応援してもらって、好きになってもらう。その中でラグビーを通じて何かを与え、応援してください。皆さんにとってスピアーズの存在価値を高めていきたいです。」

◆ラグビーエデュケーター

「新たなチャレンジとしてラグビーエデュケーターという資格の取得です。簡単に言うとコーチをコー

チする人材です。2019年のワールドカップ後にラグビーを文化として残していくためには、絶対に良い指導者が必要となってきます。その指導者層にアプローチする非常に意義深い役割を担い、今担当している、普及と広報を通して、クボタスピアーズだけではなく、ラグビーという競技の魅力を広げていきたいと思っています。」



広報普及担当

HIRONORI MAEKAWA



← 萩澤 正太(FL)
187 cm/95 kg
お気に入りユニクロの
ウルトラライトダウン



古賀 太貴(PR) →
178 cm/104 kg
いつ踏まれても良い様
に、安全靴を着用(笑)

新関 世志輝(LO) →
193 cm/110 kg

「いつでも買い物ができる様
にしています」とトートバッグ
を持っている新関選手

そうです、パジャマの様な選
手は彼の事を言っています



SPMO

～魅せる 槍男の日常～

どうも、ドンです。
今回はあえて出演依頼をかけず、
帰り道に突撃してみました！
パジャマ?!の様な人もいますが
リアルな【素】の槍男を
是非お楽しみ下さい(^_^)



← 稲橋 良太(FL)
182 cm/95 kg
完全防寒、クセ強めの靴

高橋 拓朗(CTB) →
182 cm/88 kg
普段はバッチリ決める髪型
も練習に来る時は、ふんわり
桑原(幽遊白書より)





← 川向 瑛(SO)

171 cm/80 kg

御洒落九州男児

母校のパーカーを着こな
します

谷口 和洋(SH) →

165 cm/73 kg

新関選手とはまた違う

パジャマスタイル(笑)

サイズ感が違うだけで

こうも可愛くなるか・・・



合谷 和弘(FB) →

170 cm/78 kg

前回登場した時も NIKE で

コーディネートしてましたが

もちろん今回も！

オリンピックとなると

いつでも服装がきちりして

ます！



SPMO

～魅せろ 槍男の日常～



← 望月 諒(WTB)

183 cm/88 kg

帽子大好きネズミ先輩！

ポーズは【直立不動】

杉本 博昭(HO) →

182 cm/105 kg

撮影日は気温は 2~3℃

ジャケットは全開！笑

カバンはお気に入りの

ケツメイシツアートート

